

茨城県五霞町

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（遊休地の利活用）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセプション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

防災ステーションごか隣接地の利活用について

賑わいの場の検討エリア内にある情報・防災ステーションごかに隣接した6haの遊休地（更地）について、キャンプ・グランピング・宿泊施設・イベント会場等のアウトドアで利活用によって、まちの【賑わいの場】の創出を図りたい。

①解決したい課題

○解決したい課題

五霞町には観光地及び宿泊施設がないため、道の駅ごかから情報・防災ステーションごかまでの約1.8kmの間を【賑わいの場】として検討している。

その中で情報・防災ステーションごかに隣接地については、当初総合運動公園整備を進める予定で用地を取得したが、町の現状・時代の推移等を踏まえ計画を中止し、そこから約20年間土地の利活用がされていない状況である。

○五霞町の紹介/人口：7,933人（令和7年1月現在）/面積：23.11km²（茨城県最小面積）/

立地等：当町は関東平野の中央に位置しており、茨城県の西南端に位置しているため、【茨城県の西の玄関口】と呼ばれている。さらに、東京都心から50km圏内に位置しており、近郊整備地帯に指定されている。

○施設の概要/敷地面積：約60,000m²/現況地目：雑種地/用途：市街化調整区域/その他：下水、上水、電気、光ファイバー完備

○課題への取組状況：茨城県主催のフィールドマッチングイベントに参加し、対象地のPRを行った。

②課題解決の方向性等

○利活用方針：キャンプ、グランピング、宿泊施設、イベント会場等としての利活用

○利活用に際して民間企業に求めること

当町では、道の駅ごかから情報・防災ステーションごかまでを【都市核（複合交流）から観光レクリエーション拠点】エリアとして、アウトドアを中心とした土地利用を検討している。



道の駅ごか（外観）



ラジコンパークGoka



③課題解決のイメージ・効果

- ・自治体：観光地及び宿泊施設がないため、情報・防災ステーションごか隣接地をアウトドアとして利活用することで【賑わいの場】の創出を図りたい。
- ・地域住民：エリアの中に廃校や遊休施設があり、土地利用について高い関心を示しており、企業誘致・イベント・雇用創出・防災対策の強化等に期待を寄せている。

その他

本町は人口が少なく、スケールメリットに課題があると感じている。そのような自治体でも官民連携事業（スモールコンセッション等）が進んで行くことを期待しています。様々なご意見・ご提案をお願いします。